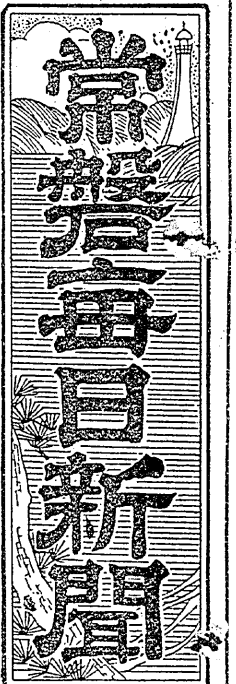


刊夕 日七十月九



刊 日
定額 一月金拾五圓 郵税五圓
廣告料五圓 印刷一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行所 常警報毎日新聞社
印刷所 常警報毎日印刷株式會社

氏子民に急告

平町鎮守社々司
山部 正勇

不作義に平町鎮守社々司に補命以來、氏子役員諸氏の熱誠なる援助の下に、夙夜神明に奉仕し、傍ら社殿の造營、境内の整備、其他諸般の懸案解決に微力を盡して、頽れたるを興し、亂れたるを匡し、一意神威の擴張、社運の隆昌を謀り、近く實施に至るべき平市の眞の精神的中心たる殿堂、渴仰の表徴たらしめんとし、常に氏子民の平安と彌榮に祈念を凝らし、各位亦敬虔の篤きにより、着々往時の盛運に向ひ、祭儀逐年股脈を來し、ひそかに當社司として、神明と氏子民に幾分

ノート

高速度印刷機一臺
で一時間

に十五萬枚の新聞紙が刷れる。之を横に繰れば東京驛から静岡驛迄送るなりと、應ふあるを得たるを喜びをりし時、突如として不徳の致す所とは云へ、境内管理の件に關し、二三新紙の真相を得ざる報道に端を發し、問題を惹起し、當社役員諸氏は勿論、知己各位の心痛を煩はし恐縮に

堪へざると共に、情誼を寄せられたる各位に、深甚なる感謝の意を表する次第、而して一々其真相を披瀝するの煩雜を厭ひ、且は誤解より果を神明に及ぼさんことを恐懼の餘り、默視するに不忍、今次の顛末を詳述して立場を明にし、各位の

明日の献立

【朝】味噌汁 玉菜 小付
【晝】甘煮 蕪浸しもの
【晚】きつねずし 油揚 人參

諒承を乞はんとするものである。去る七日第二小學校に津田校長を訪ひ、極めて懇談的に座談的に希望を開陳せり、即當社境内管理上事學童に關することは、歴代校長に懇談し、其都度何分の訓示の下に、敬虔なる態度の見るべきもの極めて多くなりしも、亦何日となく亂れ境内管理の職務執行上、支障多しとせず、境内樹木の折損、紙屑其他の放置、散亂、惡戯の種々相、又學級團體の寫生時に於ける狀況等を談じ、困惑の狀を訴へ、其處置に就て意見交換、境内朝夕通行の延人員千六百餘名等の事など話



ゆふへ

江尻 風靖
夕日影うれひを帯びて
落ちてゆく
風をよぐ枯野の道に
たゞずみて空を仰げば
名も知らぬ小さき鳥の
疲れたる羽根いそぎぬ
遙かなる空の彼方に
白き雲今日をばのせて
心なく流れて行けば

我が胸よかすかにおのゝく
あゝ行きし空しき日よ
昨日又今日も過ぎたり
謹告

最近ツルヤ商店ノ名儀ヲ使用シテ寶石貴金屬其他ノ賈造物ヲ持參シテ訪問販賣スルモノアリト其筋ヨリ注意ガアリマシタカラ之等不正販賣人ノ口車ニ乘リ賈造物ノ買取リヲナサル様御注意申上ゲマス、モシ右様ノ者ガ参リマシタ時ハ警察署ヘ御知ラセ下サイ。

ツルヤ商店デハ
一、訪問販賣ハ絶対致シマセン
一、全商品ニ正札ヲツケテ居リマス
一、全店員ガ圓内ニツルヤト横書きシタマークヲツケテ居リマス
右點ニ特ニ御注意下サイ
平四丁目
御客様

電話 79 番
貨切
是非 迅速—親切—御客様本位の……
平三丁目警察署通り
平タクシーへ
▲長距離は特に御相談に應じます。

お醬油は……ヤマフル
醬油味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品
鹽屋
金山崎合名會社
福島縣平町電話營業部ニ醸造工場有
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎 回文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)
市原醫院
平町田町
電話一四四番

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古をお勧め致します
平田町九六
喜多流 謠曲 白土會
喜多流 仕舞 白土會
◇詳細は本會へ御問合せ下さり◇ 電一二七番

外科 内臓外科
レントゲン線
醫學博士 諸橋鐵彌
◎新川町二七(電四六四)

月曜是非

通行禁止の噂

英國の童話に次ぎの様な話がある。一人の男が、腹の中から三羽の鳥を吐き出した人間があると云ふ珍事を耳にして、友人に其の眞偽を尋ねると、夫れは三羽でなく二羽の誤りであるとの事であり、更に事實を確かめると、實際は二羽でなく一羽であると聞き、夫れにしても餘りに不思議に耐えないので、吐き出した本人に當つて事の眞相を聞くと意外にも吐いた事は事實だが、夫れは『鳥の様に眞黒なもの』であつたとの事に啞然として二の句が繼げなかつた。

此の童話は世に傳へられる噂話の、實に眞實性に乏しく、事實に縁遠い場合の少なくない事の寓意が込められてある。噂話は大抵眞相よりも誇大に傳へられ、次第に輪に輪がかかり尾緒が付いて、最後の頃には噂の生んだ噂が、人の間に勢力を占め、それが眞實の如く人の頭を支配する。

最近の縣社子鐵倉神社境内の世に云ふ通行禁止の問題なども夫れである。山部神官が餘りに誤解の大きい事に惶れを抱いて、此程發表した『氏子民に急告』と題する聲明書を見るに、實に理路整然たるものがあり、其處に少しも無理のない事が肯定出来る。然して今更ながら世に傳へ

あるものと、解釋するものは、その解釋が誤りであり山部氏には問ふべき責任がない。然れ共、斯かる神社の問題に牽強附會の説を生むは神社と氏子間の間隙から出發するのである事に思ひを

内郷村二度び優勝

武道の榮冠は平町

活氣横溢の郡青年体育大會

石城聯合青年團第十一回体育大會は既報の如く昨十六日午前九時四十分より磐中グラウンドに於て開催先づ定刻百餘名の選手の入場式あつて國歌を合唱、次いで會長代理西山副會長が「勝敗に拘泥せず平素鍛錬された技術と精神を充分發起すると共に我が敵を愛する觀念を強く把持して堂々戦へ」と激励して開會挨拶を述べ前回の優勝團たる内郷(陸上競技)及び豊間(武道)の兩青年團より優勝旗並に優勝カップを夫々返還、審判長下山田尚方氏の競技に關する注意あつて直ちにフキールドは砲丸投、トラックは百米豫選をトップに

大會の幕は切り落されたが、高く澄み渡つた初秋の空は涼風加はり惠まれた絶好のスポーツ日和の事であるものと、解釋するものは、その解釋が誤りであり山部氏には問ふべき責任がない。然れ共、斯かる神社の問題に牽強附會の説を生むは神社と氏子間の間隙から出發するのである事に思ひを

致せば、今後山部氏は神社の清浄を旨とする事と、共に、更に一步を進め、氏子との脈絡を固からしむる上に一段の努力を要すべきものがあると思ふ。

縣大會への出場選手が決定

石城聯合青年團では体育大會終了後直ちに來る十月十四日相馬郡中村町に於て開催される縣下青年團對抗体育大會の出場選手詮衡委員會を開いたが別項の大會戦績に依り左の如く決定本日各選手に通知した

- 5 大野北村元治
△走中跳 1 内郷丹野富士男(記録六米三六) 2 植田渡邊彌平 3 平金成龜太郎
△走高跳 1 内郷鈴木武雄(記録一米七五) 2 平花澤保夫 3 湯本富澤敏雄
△砲丸投 1 湯本江幡弘司(記録一〇米〇五) 2 内郷高橋勇吉 3 上遠野山野義宗
5 藤原高木三平
△俵擔 1 平片寄弘伸(郡新記録二三秒) 2 内郷吉田武司 3 飯野遠藤友治 4 上遠野山野義宗
5 草野大谷吉春
△千米瑞典繼走 1 内郷チーム(縣新記録二分一三秒) 2 湯本 3 大浦

梨は意外な増収

味覺の秋に贈る名産石城梨は近年各市場にその販路を開拓して聲價を謳はれてゐるが今年も天候不順のため減收を憂慮されてゐた處乾燥が續いたため比較的増收で大体六十萬貫内外の豊作といはれ不振であつた他の果實類を顔色なからしめてゐるが郡農會も今年は特に

- △劍道 1 平小野彌 2 湯本小野五郎 3 澤渡澤田正幸 4 飯野北郷正二郎 5 大野秋榮
△柔道 1 神谷阿部文平 2 上遠野荒川久 3 平白井晃 4 同根根保美 5 湯本武藤兼一
△相撲 1 内郷山野邊政美 2 内郷鈴木幸七 3 好間下坂東五郎 4 大野鯨岡力造 5 飯野木村繁雄

強豪入山と平俱對戰

磐陽野球大會の組合せ決定 二十三日日から開始される磐陽野球大會の組合せは十五日の主將會議の結果左の如く決定した、尚ほ準決勝は三十日磐中、湯本兩球場で行ひ同日午後磐中球場で決勝戰舉行の筈であるが平鐵道俱樂部と平遊友は棄權したので結局七チームの争覇となつた

- △第一回戰
A 高月——古河(八時半)
B 入山——平俱(七時半)
C 揚土——湯本(二時半)
磐炭不戰一勝
△準決勝戰
A の勝者——B の勝者
C の勝者——磐城炭礦
平署軍快勝す 平署對入山炭礦劍道試合は昨十六日午前十時から湯本町小學校講堂で舉行平署の鋭鋒物凄く結局平署軍大勝高松

小學事務打合せ

各小學校事務打合せ會は來る二十九日午後一時より第三校會議室に於て開き十分の行事に就いて種々協議する

- 平署四倉劍道 平署對四倉署の劍道試合は來る二十三日午前九時から四倉署演武場で舉行
△新川町三二 高野仁平氏
△新川町二八 佐藤寅治氏
△新川町二八 佐藤寅治氏
姪佐藤きよ子さん(二ツ)

小作爭議を未然に警戒

郡農會が對策

勞資の兩者懇談を試む

今年度の稲作は屢報の如く近年にない減收といはれ加ふるに米價の暴落によつて各農家は窮乏のどん底に喘ぐ悲惨な現状にあり出來秋には近年影をひそめた小作爭議等の續發を懼れ郡農會では之が對策を計るため二十一日午後一時から平町會議室に近郷の地主並に自作及び小作者を招集農業倉庫及び拂下げ米の利用その他

音樂會開催

櫻丘會協議

警女櫻ヶ丘會では本日午後一時より役員會を開き例年の秋季音樂會開催の件に就いて種々協議した

奸智の養子

再度養母を偽る

家屋敷を賣つた金を 懷中に東京で雲隠れ 老婆今では宿なし

平町立町九〇青物商清原ナミさん(六八)は既報の如く去月二十一日養子の東京市淺草生れ清原國治(三〇)に三百圓を持逃されたが本月初旬平署の

手配により上野驛附近を徘徊中の國治を捕へ連れ戻され一先づ落ち着いた處奸智にたけた同人は『東京で機械工場を開くと金儲けが出来ると養母を巧みに詐り家屋敷を賣り拂つて千百圓の金を握り十

唱歌遊戯

教員の研究會

石城第三區第一方面(平、飯野、内郷、好間計十校)の研究會は来る二十八日午前九時より平第三小學校に於て自由參觀、共同參觀、唱歌遊戯會の順に開かれ終つて午後一時よりはこれが批評會を開く筈であるが唱歌遊戯會のプログラムは左の如くである由

共白髮の末

松富料理店 夫婦喧嘩は解決

七ヶ年に亘る辛苦の賜物である二千圓の貯金通帳を持つ逃げた平町谷口料理店松二さんの内縁の妻宮崎とみ(三〇)は桐生市の實家に歸宅したところを平署の手配により逮捕十五日連れ戻され谷口樓の仲介で夫婦の仲が直り末は共白髮といふわけで二人の名をとつて松富といふ料理店を新田町に出

明日の天才

十八日

今晩も明日も北 東の風曇

- #### 今晚の部
- 後六、〇〇 子供の時間 お話「勇敢なる水兵」 加藤正
 - 後六、二五 基礎英語講座 岡倉由三郎
 - 後七、三〇 講演「東洋平和と海軍の縮小問題」

踏切小父さんの榮えある表彰狀

古鍛冶町鐵道踏切の小父さん安齋秀雄さんが雑誌キン表彰部より賞狀と共に銀杯を贈られその傳達式が先般平第一小學校講堂に各關係者兒童多數列席の譽を蒙る席上で舉げられた事は既記の如くであるが表彰狀は左の如くである

遂に彼世へ

不義の片破れ

十五日午後五時平町六丁目熱心湯方で不義の身を清算すべく小口萬太(五〇)と猫イラズを嚙下心中を企てた平町大町日雇業橋本忠一郎内

弟の同意を得たと

鈴木一郎が犯罪を否認 次回公判は二十二日

既報玉川村大字島一四農鈴木一男(三〇)の私文書偽造行使詐欺、窃盜事件の公判は去る十五日午後一時より平區裁判所に於て

遠足運動線上

既報 来る二十五日催す筈であつ

明日の

- 前六、三〇 基礎獨語講座 (四) 岡本修助
- 前七、〇一 聖典講義「牛圖」 勝平 大喜
- 前九、一〇 料理献立 中村 康子
- 前一〇、三〇 婦人美術講座「日本畫」(三三) 文學博士 齊藤 隆三
- 後〇、〇五 ラヂオドラマ
- 後二、〇〇 講演賞戦回 顧談 陸軍砲兵伍長 白幡衛 陸軍歩兵特務曹長
- 妻真田まつ(四〇)は發見と同時に自宅に引取られ手當てを加へたが昨十六日午前八時遂に死亡した

前借踏倒

親元に潜伏か 内郷村大字宮字金坂五六今朝藏二女佐藤イシ(七〇)は去月十五日前借四百圓で埼玉縣熊谷市料理店お可盛樓に酌婦として住込み僅か十日働いたばかりで二十五日前借を踏倒して逃走したが親許に潜伏してゐるらしいので十七日主人から平署へ取捕へ方を願出た

神谷村射擊會

神谷村在郷軍人分會では昨日午前九時より同村射擊場に於て未教育補充兵、並青訓生參加の射擊大會を開催木村分會長、鎌田青訓主事の時局講演あつたが參加者百五十餘名に達し頗る盛會を呈した因に入賞者左の如し(在郷軍人會員) 宇佐美彌 2片寄實 3片寄秀義(青訓及未教育兵) 1星明 2佐藤秀彦 3志賀正美 4酒井重雄 5猪狩正男

平營林署大敗

既報 平營林署野球部は去る十五日午得一時より富岡小學校球場に於て開催された濱三郡下營林署對抗野球大會に出場富岡、營林署と對戦したが七對零のスコアで大敗した

又委任狀

及印鑑偽造

浮城の比叢

田邊南龍(作)
山本英春(繪)

一三六:

卑怯もの、集合

『さうだ、何うだか分りやアしない』

『ワイ〜』と勝手な事を申して居る、菊地源六は道場へ戻つて来て、面目ないから道場を疊んで四谷鹽町の裏長屋を借りて弟子を五人連れて潜んで居る、斯うなつては熱々江田の仁兵衛が恨めしい、己れ意恨を晴らさしにや置かねと野心を差狭んで居る何しろ仁兵衛の爲に勢力を得られて身から出た錆とは云ひながら自分の爲す事がへまに行つたので残念で〜堪らない

『此の先何うしたもんだらう』
『さうですなア、尤も彼の仁兵衛と云ふ奴を亡きものにして下へばいゝんで』
『俺もさう思つて居る』

此の菊地源六と云ふ人は狭い量見で、仁兵衛を殺さうと覺悟したのが生涯の誤り、妬む、嫉むと云ふは人間の屑でございませう、弟子達は先生は金があるし一緒に居れば安心して其日が送れる、一人歩きの出来ない面々先生の懐へ入つて居れば差支へないのだ、それがさうは行かないものと見え却つて弟子共より仁兵衛を



殺せばと云ふ事を勧めた、スルト四谷の荒木横町と云ふ處にヤクザ稼業をして居

しくなつて居りますが此人達とは反の合はない鳴神の藤藏、お旗本様方のお悪い方々が料理屋へおいでになつて、多くの者を連れて澤山の料理を取り酒を飲み、果ては器が損じて居たとか酒に塵が這入つてゐたのと故障を付けて勘定を拂はないで出て行く、誠にみじめなものだ、其殿様方のお供

て子分の七八十人も持つて可成腕ッ節も利いてる鳴神と紳名を取つた藤藏と云ふ親分當年四十、江戸の生れで人に頼まれりやア火の中へでも劍の中へでも入らうと云ふ、謂はば無法者だ。其頃ほひ江戸の唐犬権兵衛、夢の市郎兵衛を初めとして多くの親分衆は皆長兵衛の身内になつて、お大名様へ出入をして大變に温御

をして宜い事にして町人を苦しめ、大家の前なぞへ参ると小僧が水を撒いて居ると態と足を出して水が掛つたと云つて主人へ掛合ひ、番頭へ掛け込んで内濟と云ふので金を取る風の悪い親分だ、それを關口與四郎が聞き込んで居りますから『先生、藤藏親分を頼んで仁兵衛の他行を窺つて打つ放して仕無たら宜うござ

いませう』
『それぢやア拙者が行つて頼まう』
大金を持つてゐるから菊地源六金子一百兩を紙に包み熨斗をつけ、叮嚀に取替へて外に五十兩御酒として關口與四郎を供に連れて荒木横町の親分の所へ行く、初對面の挨拶が済んで

『さて親分折入つてお願ひいたしたい事があつて拙者参つた、是は甚だ失禮でござるが何か取つて参るんであるがお土産の印』
『是りやあ先生、莫大な頂戴者をして恐れ入ります』
『是はどうかお身内のお若い衆に御酒の一つもあげて下さるやうに』
と云つて五十兩包んだのを出した、實に鳥神の藤藏百兩と書いてある包を見て吃驚した、其頃は百兩と云ふ金は容易なことではない、其上に御酒でもと云つて差出した包が五十兩。

店主	か	を	店
運	れ	運	主
行	る	れ	か
場		て	店
茶		行	員
堂			
食			
喫			
酒			
場			

平・田町
電二五三番
サロシ

時計 蓄音器 レコード 眼鏡類 懐中電燈

高橋時計店

平町 播磨小路

運動の好季節

野球用具 ユニホーム類

断然!!! 安價

競技用スパイク

常に新しき型と、念入な仕上げ!

弊店自慢の...製品 四、五〇%

平町田町

御用は! 大塚運動具店

電話七十七番

難波

内科一般

醫學博士 難波 睦

平町大町新川端 電五〇二

院

中村齒科醫院

平町 鍛冶町七

10日 検新 機設

体温計の検査日です

お宅の体温計は?

◎正確な体温計を御使用下さい

◎毎月十日の検査日御利用下さい

度量衡 指定販賣人

西村屋藥局

電三番

産婦人科 院長 木村寅次郎

外科 醫學博士 内木宗八

藥局 藥劑師 立番彌一

平町新川町十九

入院隨意 病室完備

木村病院

電話六四番